

[4] 附属横浜中学校 CAN 体験授業

CAN は、Career Aim Navigation（「人生行路の航海術を学ぶ」＝「生き方を学ぶ」）の略であり、また英語の CAN（可能）の意味も込められている。

中学生と高校生が授業を通して交流し、その成果を共有することで、多様で幅広く、より良い人間関係を構築する意欲や能力を育むこと、また、高校生が中学生を指導し、質問を受け共に課題を発見し解決しようとする中で、自己の在り方を考えることにより、生きる力を育成することを目的としている。過去3年間では、平成30年度は国語、令和元年度は数学を実施し、令和2年度は英語を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

以下は昨年度の事例である。

(1) 日時：

令和元年10月2日（水）9:30～10:45

(2) 場所：

光陵高校（15HR、生物室、物理室、被服室）

(3) 対象：

附属横浜中学校1学年全員（120名）
光陵高校1学年1クラス（15HR40名）

(4) 内容：

確率に関するサイコロを使ったグループワーク
授業担当 数学科（大川・川井・込宮・庄司）

(5) 実施方法：

附属横浜中学校の生徒を3クラスに分け、それぞれのクラスに光陵生10名がサポートに入り、光陵高校数学科4名が指導にあたった。

(6) その他：

附属横浜中学校は貸し切りバス3台での来校。午後は横浜国大を訪問。



